

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名：岡崎市六ツ美商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考				
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価			今後の展開・改善点等				
巡回・窓口 相談指導事業	経営基盤の弱い小規模事業者を対象に、経営指導員等の商工会職員が巡回または窓口において経営全般に関する相談指導や、必要に応じて小規模事業者の課題解決に向けた提案実施して、経営改善に資する。また、創業予定者を対象とした経営全般に係る相談窓口の設置により、創業支援を図る。	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延長件数 (達成度 120.3 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)			・小規模零細事業者等の経営知識・情報の修得並びに経営上の問題解決に貢献し、経営改善と発展振興に資することができた。	総合評価 A	事業実施評側 の結果 目標達成度	自己評価	満足度	補足	目標①	目標①	○	
				目標数値	1000	実績数値	1203	目標数値	20	実績数値	20			A	A	現行どおり	現行どおり			
			目標数値	73	実績数値	74	目標数値			実績数値				必要性	A	実施方法①	実施方法①			
				73	実績数値	74	目標数値			実績数値				A	A	現行どおり	現行どおり			
記帳継続指導事業	商工会職員が正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に資する。	小規模事業者	指標	記帳指導事業者数 (達成度 101.4 %)			指標	(達成度 %)			・個人事業主等の記帳知識・決算確定申告能力の改善向上を支援し、適正な税務申告(所得税と消費税)と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評側 の結果 目標達成度	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②		
講習会事業	小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題を周知させることにより、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資する。	小規模事業者	指標	集團講習会開催回数 (達成度 80.0 %)			指標	個別講習会開催回数 (達成度 83.3 %)			・税制改正に伴う新たな制度説明やDXなど小規模事業者が経営課題に対応するための知識・情報等を提供し、事業者の資質の向上と円滑な事業運営を図ることができた。	総合評価 A		自己評価	A	A	現行どおり	実施方法①	実施方法②	他団体との共同講習会を増加させることによって、単独開催講習会を削減する
若手後継者 育成指導事業	若年層の小規模事業者・小規模事業者の若手後継者等及び小規模事業に従事する女性に対し、経営に必要な知識・情報を提供することにより、資質の向上を図り円滑な事業運営に資する。	小規模事業者	指標	1 講習会開催回数及び受講者数 ・集団 4回 77人 (うち経営革新1回4人) ・個別 5回 31人 計 9回 108人			指標	個別講習会開催回数 (達成度 83.3 %)			・税制改正に伴う新たな制度説明やDXなど小規模事業者が経営課題に対応するための知識・情報等を提供し、事業者の資質の向上と円滑な事業運営を図ることができた。	総合評価 A		自己評価	満足度	補足	目標①	目標①	○	
若手後継者 育成指導事業	若年層の小規模事業者・小規模事業者の若手後継者等及び小規模事業に従事する女性に対し、経営に必要な知識・情報を提供することにより、資質の向上を図り円滑な事業運営に資する。	小規模事業者等のうち、青年部員及び女性部員	目標数値	5	実績数値	4	目標数値	6	実績数値	5	・若手後継者等・小規模事業の経営に必要な知識・情報を提供し、資質の向上と円滑な事業運営を図ることができた。	総合評価 A		自己評価	A	A	下げる	下げる		
若手後継者 育成指導事業			目標数値	5	実績数値	7	目標数値	3	実績数値	6	・若手後継者等・小規模事業の経営に必要な知識・情報を提供し、資質の向上と円滑な事業運営を図ることができた。	総合評価 A		自己評価	B	B	実施方法①	実施方法①		
若手後継者 育成指導事業			目標数値	5	実績数値	7	目標数値	3	実績数値	6	・若手後継者等・小規模事業の経営に必要な知識・情報を提供し、資質の向上と円滑な事業運営を図ることができた。	総合評価 A		自己評価	A	A	現行どおり	現行どおり		
六ツ美商工まつり 開催事業 (商業団体等共同事業)	新型コロナウイルス感染症の影響により停発する商工業の地域経済の下支えをするため、感染症対策を講じた商工まつりを諸団体と連携して開催することで、商工業者の振興さらには六ツ美地域全般の経済・社会の活性化に資する。	小規模事業者等のうち、広告協賛者及び出展者	指標	1 六ツ美商工まつりの実施 開催年月日:令和6月10月20日(日) 広告協賛事業者数:199件 出店参画事業者:33件			指標	出展事業者数 (達成度 94.3 %)			・開催時期が春から秋に変わり、感染症前と同等規模の商工まつりを実施したことで地域振興及び六ツ美地域全般の活性化を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評側 の結果 目標達成度	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	出展スペースの狭隘化に伴い出展上限を設けるため削減する	
商店街・街づくり事業	消費者の購買力の流出傾向に対処するため、地域を周知する六ツ美の日イベント事業・六ツ美ブランド創出に通ずる事業等を実施し、購買力を確保に資する。	小規模事業者等	目標数値	150	実績数値	199	目標数値	35	実績数値	33	・写真撮影会では応募増加と合わせ、展示場所の拡大を図った。また街づくり団体の支援を通じて、六ツ美地域の周知と活性化を図ることができた。	総合評価 A		自己評価	A	A	現行どおり	下げる		
商店街・街づくり事業	消費者の購買力の流出傾向に対処するため、地域を周知する六ツ美の日イベント事業・六ツ美ブランド創出に通ずる事業等を実施し、購買力を確保に資する。	小規模事業者等	目標数値	1 六ツ美の日イベント 写真撮影会応募作品数 88点 2 悠紀の里じゃんがら会事業の支援指導 支援回数:18回			指標	街づくり団体事業支援回数 (達成度 180.0 %)			・写真撮影会では応募増加と合わせ、展示場所の拡大を図った。また街づくり団体の支援を通じて、六ツ美地域の周知と活性化を図ることができた。	総合評価 A		自己評価	B	B	実施方法①	実施方法②		
商店街・街づくり事業			目標数値	30	実績数値	88	目標数値	10	実績数値	18	・写真撮影会では応募増加と合わせ、展示場所の拡大を図った。また街づくり団体の支援を通じて、六ツ美地域の周知と活性化を図ることができた。	総合評価 A		自己評価	A	A	現行どおり	変更する		
産業活性化事業 (商工業振興事業)	岡崎市等が主催する産業活性化事業及び六ツ美地域の活性化につながる事業に参画し、岡崎市及び六ツ美地域の産業振興・観光振興・地域活性化に資する。	中小企業者 小規模事業者	指標	1 西三河広域観光振興事業への参画 2 岡崎市スポーツミッション会議への参画(3回/年) 3 岡崎市等の地域活性化事業・業種別活性化事業への参画 ・地域店舗ファンづくり推進会・岡崎おはんぶん!同推進委員会(3回)			指標	(達成度 150.0 %)			・岡崎市が推進する地域の産業振興・観光振興・地域活性化を図ることができた。	総合評価 A	事業実施評側 の結果 目標達成度	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	・応募作品数は、コロナ後増加傾向にあるため評価数を変更させる ・街づくり支援回数から、新事業の協力事業所数に評価方法を変更する	
経営強化事業	異業種交流会の機会を提供し、事業者のビジネスチャンス創出に資する。	中小企業者 小規模事業者	目標数値	1 新年交札会の実施 開催年月日:令和7年1月22日(水) 参加者:67名			指標	事業参加人数 (達成度 111.7 %)			・異業種交流会の機会を創出することが出来た。	総合評価 A		自己評価	B	B	現行どおり	実施方法①		
経営強化事業	異業種交流会の機会を提供し、事業者のビジネスチャンス創出に資する。	中小企業者 小規模事業者	目標数値	60	実績数値	67	目標数値			実績数値	・異業種交流会の機会を創出することが出来た。	総合評価 A		自己評価	A	A	現行どおり	実施方法②		
経営強化事業			目標数値				目標数値			実績数値	・異業種交流会の機会を創出することが出来た。	総合評価 A		自己評価	A	A	現行どおり	実施方法②		

2024年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名：岡崎市六ツ美商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価														備考			
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等					
雇用促進・福利厚生事業	優良従業員表彰を実施して、中小企業の就業者の確保と定着に資する。健康診断事業を実施して、中小企業者の福利厚生向上に資する。産業技術に関する意識啓蒙事業を通じて、将来的な人材・労働力の育成に資する。	1 優良従業員表彰の実施 実施年月日：令和6年6月21日(木) 表彰者数：15名 2 各種共済の普及促進 3 岡崎少年少女発明クラブ事業の支援 4 健康診断事業の実施 受診者：28名	中小企業者 小規模事業者	指標	優良従業員表彰者数 (達成度 150.0 %)			健康診断事業受診者 (達成度 140.0 %)			・表彰を実施し、小規模事業者等の就業者の確保と定着を図ることができた。 ・小規模事業者に対する健康増進のPRを図ることができた。 ・岡崎少年少女発明クラブ事業を支援して、将来的な人材・労働力の育成に資することができた。		総合評価 A	事業実施評価の 目標達成度	自己評価 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標① 現行どおり	委託団体の増加及び加入強化に努めるため目標を上げる	
				目標数値	10	実績数値	15	目標数値	20	実績数値	28	・表彰を実施し、小規模事業者等の就業者の確保と定着を図ることができた。 ・小規模事業者に対する健康増進のPRを図ることができた。 ・岡崎少年少女発明クラブ事業を支援して、将来的な人材・労働力の育成に資することができた。			必要性 A	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法① 現行どおり			
				目標数値	200	実績数値	209	目標数値	100	実績数値	140	・労働保険に関する事務を受託し、小規模事業者等の事務負担を軽減するとともに、労働保険の普及促進と労働保険料の適正納付を図ることができた。			自己評価 B	満足度 B	補足	目標① 上げる	目標① 上げる		
				目標数値	40	実績数値	44	目標数値		実績数値		・税務知識や青色申告制度の推進を図ることで、より広く周知することができた。 ・食品衛生協会の事業運営を支援し、食品の許認可制度等の普及促進を図ることにより、事業者の経営改善を図ることができた。			必要性 A	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法① 現行どおり			
労務対策事業	労働保険に関する労務管理・申込納付事務を受託し、事務手続きを実施支援することにより、中小企業者等の事務負担を軽減するとともに労働保険制度の普及促進及び労働保険料の適正納付に資する。	1 労働保険事務組合の運営 委託事業者数：209件 2 六ツ美幸田みかた建設一人親方等建設組合の運営 委託事業者数：140件	中小企業者 小規模事業者	指標	労働保険事務委託事業者数 (達成度 104.5 %)			一人親方組合委託事業者数 (達成度 140.0 %)			・労働保険に関する事務を受託し、小規模事業者等の事務負担を軽減するとともに、労働保険の普及促進と労働保険料の適正納付を図ることができた。		総合評価 A	事業実施評価の 目標達成度	自己評価 A	満足度 B	補足	目標① 上げる	目標① 上げる	委託団体の増加及び加入強化に努めるため目標を上げる	
				目標数値	200	実績数値	209	目標数値	100	実績数値	140	・労働保険に関する事務を受託し、小規模事業者等の事務負担を軽減するとともに、労働保険の普及促進と労働保険料の適正納付を図ることができた。			必要性 A	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法① 現行どおり			
				目標数値	40	実績数値	44	目標数値		実績数値		・税務知識や青色申告制度の推進を図ることで、より広く周知することができた。 ・食品衛生協会の事業運営を支援し、食品の許認可制度等の普及促進を図ることにより、事業者の経営改善を図ることができた。			自己評価 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり		
				目標数値	40	実績数値	44	目標数値		実績数値		・税務知識や青色申告制度の推進を図ることで、より広く周知することができた。 ・食品衛生協会の事業運営を支援し、食品の許認可制度等の普及促進を図ることにより、事業者の経営改善を図ることができた。			必要性 A	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
関係団体等育成指導事業	青色申告会・食品衛生協会・各種業界団体等の事業運営を支援し、税務知識・業種別許認可制度等の普及促進を図ることにより、事業者の経営改善に資する。	1 青色申告会・食品衛生協会六ツ美分会会員数 2 爽気食品衛生協会岡崎支部六ツ美分会の運営会員：44件 3 食品衛生制度の普及支援 4 六ツ美幸田みかた建設一人親方労災組合の運営	小規模事業者	指標	食品衛生協会六ツ美分会会員数 (達成度 110.0 %)			(達成度 %)			・税務知識や青色申告制度の推進を図ることで、より広く周知することができた。 ・食品衛生協会の事業運営を支援し、食品の許認可制度等の普及促進を図ることにより、事業者の経営改善を図ることができた。		総合評価 A	事業実施評価の 目標達成度	自己評価 A	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	委託団体の増加及び加入強化に努めるため目標を上げる	
				目標数値	40	実績数値	44	目標数値		実績数値		・税務知識や青色申告制度の推進を図ることで、より広く周知することができた。 ・食品衛生協会の事業運営を支援し、食品の許認可制度等の普及促進を図ることにより、事業者の経営改善を図ることができた。			必要性 A	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
				目標数値	40	実績数値	44	目標数値		実績数値		・税務知識や青色申告制度の推進を図ることで、より広く周知することができた。 ・食品衛生協会の事業運営を支援し、食品の許認可制度等の普及促進を図ることにより、事業者の経営改善を図ることができた。			自己評価 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり		
				目標数値	40	実績数値	44	目標数値		実績数値		・税務知識や青色申告制度の推進を図ることで、より広く周知することができた。 ・食品衛生協会の事業運営を支援し、食品の許認可制度等の普及促進を図ることにより、事業者の経営改善を図ることができた。			必要性 A	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
青年女性対策事業	青年部員・女性部員及び壮年部の相互交流・情報交換や社会福祉事業への参画を通じて、部員の資質向上と地域社会の発展に資する。	1 青年部事業の運営実施 活動回数：34回(手後継者育成事業を除く) 2 女性部事業の運営実施 活動回数：16回(手後継者育成事業を除く) 3 壮年部事業の運営実施 活動回数：10回	小規模事業者 等のうち、青年部員及び女性部員、壮年部員	指標	青年部活動回数 (達成度 170.0 %)			女性部活動回数 (達成度 80.0 %)			・青年部・女性部・壮年部間の交流や社会福祉事業への参画を通じて、部員の資質向上を図り、地域社会の発展に寄与することができた。		総合評価 A	事業実施評価の 目標達成度	自己評価 A	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	委託団体の増加及び加入強化に努めるため目標を上げる	
				目標数値	20	実績数値	34	目標数値	20	実績数値	16	・青年部・女性部・壮年部間の交流や社会福祉事業への参画を通じて、部員の資質向上を図り、地域社会の発展に寄与することができた。			必要性 A	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
				目標数値	20	実績数値	34	目標数値	20	実績数値	16	・青年部・女性部・壮年部間の交流や社会福祉事業への参画を通じて、部員の資質向上を図り、地域社会の発展に寄与することができた。			自己評価 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり		
				目標数値	20	実績数値	34	目標数値	20	実績数値	16	・青年部・女性部・壮年部間の交流や社会福祉事業への参画を通じて、部員の資質向上を図り、地域社会の発展に寄与することができた。			必要性 A	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
情報化推進事業(総合振興事業)	地区内の経済動向及び商工業者の経営動向を発信・公開することにより、商工業者が必要とする各種情報を提供し、事業機会の拡大・創出に資する。	1 地域内の経済動向及び商工業者の経営動向を始め、商工業者が必要とする各種情報を発行・発信・公開 更新回数：22回	中小企業者 小規模事業者 創業予定者	指標	情報更新回数 (達成度 91.7 %)			(達成度 %)			・商工業者が必要とする経営情報や施策情報を提供し、事業機会の拡大・創出に寄与することができた。また紙面での発行により、事業所へ直接行くことで情報提供を行わざることで出来た。		総合評価 B	事業実施評価の 目標達成度	自己評価 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	○	
				目標数値	24	実績数値	22	目標数値		実績数値		・商工業者が必要とする経営情報や施策情報を提供し、事業機会の拡大・創出に寄与することができた。また紙面での発行により、事業所へ直接行くことで情報提供を行わざることで出来た。			必要性 B	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
				目標数値	24	実績数値	22	目標数値		実績数値		・商工業者が必要とする経営情報や施策情報を提供し、事業機会の拡大・創出に寄与することができた。また紙面での発行により、事業所へ直接行くことで情報提供を行わざることで出来た。			必要性 A	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
				目標数値	24	実績数値	22	目標数値		実績数値		・商工業者が必要とする経営情報や施策情報を提供し、事業機会の拡大・創出に寄与することができた。また紙面での発行により、事業所へ直接行くことで情報提供を行わざることで出来た。			必要性 A	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
部会・委員会事業	商業部会・工業部会・金融連絡会・小規模企業振興委員会等の部会・委員会活動を通じて、各業種・業界の相互交流・情報交換の機会を提供し、地域社会・地域産業全般の振興発展に資する。	1 商業部会事業の実施 開催回数：3回 2 工業部会事業の実施 開催回数：1回 3 小規模企業振興委員会の開催 開催回数：0回 4 金融連絡会の開催 開催回数：0回	小規模事業者 等	指標	各部会・委員会開催回数 (達成度 66.7 %)			(達成度 %)			・商業・工業の各部会や委員会活動を実施することで、業種・業界に対して情報提供を行い振興発展に寄与することができた。		総合評価 C	事業実施評価の 目標達成度	自己評価 C	満足度 C	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	○	
				目標数値	6	実績数値	4	目標数値		実績数値		・商業・工業の各部会や委員会活動を実施することで、業種・業界に対して情報提供を行い振興発展に寄与することができた。			必要性 C	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
				目標数値	6	実績数値	4	目標数値		実績数値		・商業・工業の各部会や委員会活動を実施することで、業種・業界に対して情報提供を行い振興発展に寄与することができた。			必要性 C	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
				目標数値	6	実績数値	4	目標数値		実績数値		・商業・工業の各部会や委員会活動を実施することで、業種・業界に対して情報提供を行い振興発展に寄与することができた。			必要性 B	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
地域振興事業(総合振興事業)	地域商工業と地域住民等との意見交換会を通じて相互交流を図り、地域商工業と地域社会双方の活性化に資する。	商工会役員等・六ツ美地区4学区総代会・4学区選出市議会議員による地域意見交換会の実施開催：令和6年7月19日～12月23日 事業参加人数：22人	商工会役員等 4学区総代会 4学区選出市議会議員	指標	事業参加人数 (達成度 88.0 %)			(達成度 %)			・地域の商工業者と住民代表、地元市議との意見交換会を実施し、商工業と地域住民が連携する地域活性化に対する相互交流が図ることができた。		総合評価 A	事業実施評価の 目標達成度	自己評価 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	○	
				目標数値	25	実績数値	22	目標数値		実績数値		・地域の商工業者と住民代表、地元市議との意見交換会を実施し、商工業と地域住民が連携する地域活性化に対する相互交流が図ることができた。			必要性 A	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
				目標数値	25	実績数値	22	目標数値		実績数値		・地域の商工業者と住民代表、地元市議との意見交換会を実施し、商工業と地域住民が連携する地域活性化に対する相互交流が図ることができた。			必要性 B	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			
				目標数値	25	実績数値	22	目標数値		実績数値		・地域の商工業者と住民代表、地元市議との意見交換会を実施し、商工業と地域住民が連携する地域活性化に対する相互交流が図ることができた。			必要性 A	現行どおり	実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり			

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。

※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。

※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。